





表富士から裏富士へ、景勝地や歴史の聖地をめぐる世界文化遺産を満喫。さらに最先端技術にもふれた思い出深い旅になりました。



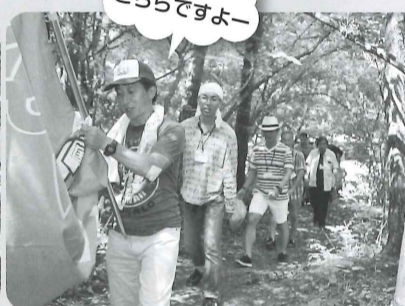
## 1日目

万葉集にも歌われた景勝地「三保の松原」を皮切りに、日本平よりロープウェイで久能山東照宮へ。貸切遊覧船で清水港のクルージングを楽しみ、焼津黒潮温泉「松風閣」に宿泊。



## 2日目

焼津から一路、裏富士こと富士北麓エリアへ。富士山の産んだ天然記念物「忍野八海」に清涼感を感じ、富士山世界遺産センターで富士山の魅力を再発見しました。リニア見学センターでは乗り物の最先端を体感し、帰路に。



## 規約改定

国際労働組合は、2019アクションプランに基づき規約の改定を行った。に諮り全会一致で可決された。  
 非組合員の範囲と内勤支部設立に伴う条文に関する改定で、6月19日開催の第6回合同執行会議で確認し、同日開催の第6回中央委員会  
 なお、規約改定は規約第69条に基づき、第28期本部役員総選挙に合わせ直接無記名投票を実施し賛成多数で可決された。

ページ	条 項	現 行	改 定	備 考
2	第6条	次に該当する者は組合員にならない。 1. 管理職の資格を有する者 2. 役員室・内部監査室・管理部IT課・企画広報室勤務者および役員付社用乗務社員(業務委託者を除く) 3. 有期雇用契約の者 4. 試用期間中の者で入社2ヵ月未満の者 5. 嘱託(非常勤嘱託、顧問、相談役を含む) 6. その他組合が決定した者	次に該当する者は組合員にならない。 1. 管理職の資格を有する者 2. 有期雇用契約の者 3. 労働契約法の定めに基づき有期雇用契約から無期雇用契約へ転換した者 4. 試用期間中の者で入社2ヵ月未満の者 5. 嘱託(非常勤嘱託、顧問、相談役を含む) 6. その他組合が決定した者	非組合員の範囲 2号 削除 号数繰り上げ 3号 追加 以下号数繰り下げ
	第6条 2	新設	第69条が示す役員が昇進により前項1号に該当することとなった場合には、中央委員会の議を経て任期満了までの期間について組合員の資格を有することができる。	非組合員の範囲 新設
6	第34条	部門中央委員会は次の職種で区分し、それぞれ独立した機能とする。 1. ハイヤー部門中央委員会 2. タクシー部門中央委員会 3. バス部門中央委員会 4. その他の部門中央委員会	部門中央委員会は次の職種で区分し、それぞれ独立した機能とする。 1. ハイヤー部門中央委員会 2. タクシー部門中央委員会 3. バス部門中央委員会 4. 内勤部門中央委員会 5. その他の部門中央委員会	部門中央委員会 4号 追加 以下号数繰り下げ
7	第37条	内勤部門は内勤代議員会を設置し、職種に関わる事項を審議決定する。	削除	条文削除 以下号数繰り上げ
	第37条 2	内勤代議員会は支部規定第27条に定める内勤代議員によって構成し、任期は2年とする。	削除	
	第37条 3	内勤代議員会の招集、成立、運営、議決権等は部門中央委員会に準ずる。	削除	



団体戦は台東支部が三連覇！  
個人戦は念願の初優勝！

# 第50回 へら鮎釣り大会

第50回へら鮎釣り大会は、2019年6月1日(土)埼玉県羽生市「椎の木湖」において、絶好の晴天に恵まれ、12支部1分會とフレンドリークラブ合わせて87名(うち女性6名、子供18名、FC4名)の参加で開催されました。

早朝から多くの参加者が続々と集い、6時30分からの受付では、釣座抽選後一目散に棧橋に向かい、競技に向け黙々と準備する姿からは、大会にかける参加者の意気込みが伝わってきました。7時30分からの開会式では、田北中央副執行委員長より、「今年も釣りエサの「マルキユー」インストラクターの小山圭造さんと小池指導員にお手伝いしていただけることになりました。改めて感謝申し上げます。へら鮎釣り大会は、今大会で50回目を迎える歴史ある大会です。また椎の木湖さんには2001年の第32回大会から今年で19回目と大変お世話になっております。釣果はここ数年、団体戦優勝は100kg超となっており、皆さんの技術も上がってきていますので今日も新記録を期待しています。また過去に初参加で優勝された方もおられますし、参加の皆さん全員にチャンスのある競技です。上位入賞目指して頑張ってください。今日は気温も28度になるとの予報ですので、水分補給をしっかりして一日楽しみましょう！」と挨拶がありました。

開会式終了後、上位入賞を目指す選手たちが足早に棧橋に向かう一方で、ビギナー参加者は小山圭造インストラクターより熱心に指導を受けていました。

競技は8時の時報の合図で一斉にスタートし、6時間にとどまらずに活気があふれた。生憎の雨に比べ芳しくないなか(47900kg)、二連覇だった台東支部がその実力を発揮し(98.29kg/109枚)、2位に大差をつけて見事団体戦三連覇を達成しました。準優勝は東雲支部(61.51kg/68枚)、3位は世田谷支部(39.63kg/46枚)となりました。

個人戦は、皆が苦戦するなか30枚以上を釣り上げた台東支部の大塚博和さん(27.14kg/31枚)が念願の初優勝を飾りました。準優勝は同じく台東支部の中川太計博さん(22.45kg/25枚)、第3位は東雲支部の岡本雅洋さん(20.41kg/22枚)がそれぞれ初表彰となりました。

閉会式では、北里中央執行委員長より「今年もたくさん釣果を上げていただきありがとうございます。またマルキユー株式会社様に心から御礼申し上げますとともにインストラクターの小山圭造さん、OBの小池指導員には大変お世話になりました。感謝申し上げます。へら鮎釣り大会は腕に自信のある方もそうでない方もみんなが一緒になって楽しめる行事です。是非仲間を誘っていただいで次回回は100名を超える大会にしたいだけだと思っております。



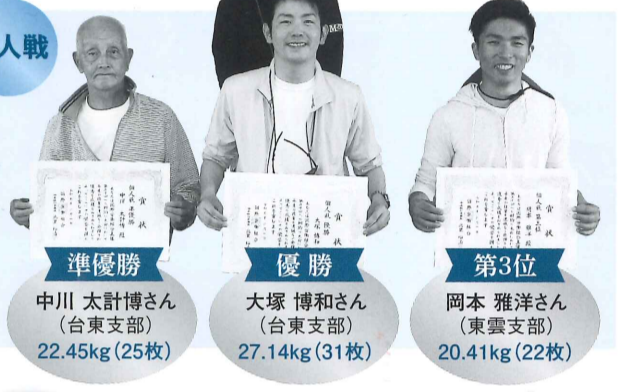
団体戦優勝 台東支部 98.29kg(109枚)



団体戦準優勝 東雲支部 61.51kg(68枚)



団体戦第3位 世田谷支部 39.63kg(46枚)



個人戦  
準優勝 中川 太計博さん(台東支部) 22.45kg(25枚)  
優勝 大塚 博和さん(台東支部) 27.14kg(31枚)  
第3位 岡本 雅洋さん(東雲支部) 20.41kg(22枚)



今年もご指導・ご協力いただき、ありがとうございました！  
丸 つれるエサづくり一筋 マルキユー インストラクター 小山 圭造さん

「ビギナー指導から仕掛けの手ほどきまで多岐にわたりお手伝いいただいた「マルキユー」の小山圭造さん、そして参加者の皆さん大変お疲れ様でした。伝統あるへら鮎釣り大会をより盛り上げるためにも、来年も多くの参加者をお待ちしています。」と挨拶がありました。



団体戦優勝 板橋支部 2,781ピン



団体戦準優勝 台東支部 2,677ピン



団体戦第3位 練馬支部 2,463ピン

# 第33回 ポウリング大会

個人戦初日は板橋支部の岡村隆さんが、トータル636ピンで2年連続3回目の個人戦優勝という快挙を成し遂げました。準優勝は羽田支部・阿部康則さん(616ピン)が、第3位は板橋支部・和賀井尚也さん(599ピン)がそれぞれ受賞し、女子の部では羽田支部・栗原美佳さん(513ピン)が優勝しました。

競技は、神谷文体部長のホイッスルにより一斉にスタートし、「ファーストストライク賞」を狙って投げられた第一投の直後には、歓声とため息が会場にこだましていました。各々がライバルとなる選手同士ではありますが、ストライクやスペアが出るたびに拍手やハイタッチが行われるなど、日々なかなか交流のない支部・分会、さらには部門の垣根を越えて楽しいコミュニケーションの場となりました。

第33回ポウリング大会は、2019年6月30日(日)・7月1日(月)の二日間、品川プリンスホテルポウリングセンターにおいて、12支部2分会延べ259名(うち子供27名、フレンドリークラブ1名)の参加で開催されました。開会式では田北中央副執行委員長より「おはようございます。たくさん選手の皆さんはじめ、付き添いの支部役員の皆さん、応援の皆さん、ポウリング大会への参加を歓迎いたします。ここ数年参加人数も少しずつではありますが増えていきます。いつもお伝えしている通り、労働組合の力は源は多くの人が集うことです。これからも本支部支部問わず全ての組合行事に皆さんで声を掛け合って、より大勢の参加をお願いします。本日は一日、大いにプレーを楽しみましょー」と挨拶があり、その後昨年優勝の板橋支部より優勝カップの返還及びレプリカの贈呈が行われ、参加者全員による記念撮影のあと始球式が行われました。

第33回ポウリング大会は、2019年6月30日(日)・7月1日(月)の二日間、品川プリンスホテルポウリングセンターにおいて、12支部2分会延べ259名(うち子供27名、フレンドリークラブ1名)の参加で開催されました。開会式では田北中央副執行委員長より「おはようございます。たくさん選手の皆さんはじめ、付き添いの支部役員の皆さん、応援の皆さん、ポウリング大会への参加を歓迎いたします。ここ数年参加人数も少しずつではありますが増えていきます。いつもお伝えしている通り、労働組合の力は源は多くの人が集うことです。これからも本支部支部問わず全ての組合行事に皆さんで声を掛け合って、より大勢の参加をお願いします。本日は一日、大いにプレーを楽しみましょー」と挨拶があり、その後昨年優勝の板橋支部より優勝カップの返還及びレプリカの贈呈が行われ、参加者全員による記念撮影のあと始球式が行われました。



個人戦(初日)  
準優勝 阿部 康則さん(羽田支部) 616ピン  
優勝 岡村 隆さん(板橋支部) 636ピン  
第3位 和賀井 尚也さん(板橋支部) 599ピン



個人戦(2日目)  
準優勝 岡濱 勝利さん(台東支部) 570ピン  
優勝 五味 智之さん(台東支部) 612ピン  
第3位 山本 亜呂さん(練馬支部) 564ピン

大会に参加された多くの選手の皆さん、運営委員の皆さん大変お疲れさまでした。来年も多くの方の参加をお待ちしております。

## 第27回写真コンテスト

### 応募作品募集中!!

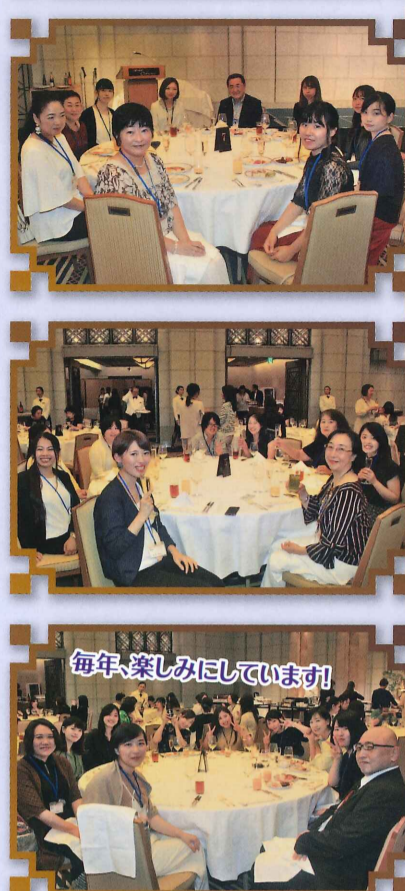
撮影機材は問いません。スマートフォン、携帯電話などで撮影した作品もお気軽に応募ください。  
※応募要項の詳細は支部掲示板でご確認ください。

応募期限 2019年11月6日(水)

お悔やみ申し上げます

 2019年9月1日 ご逝去されました。 ここに哀悼の意を表します。	 2019年7月1日 ご逝去されました。 ここに哀悼の意を表します。	 2019年6月13日 ご逝去されました。 ここに哀悼の意を表します。	 2019年5月30日 ご逝去されました。 ここに哀悼の意を表します。
福利共済委員会 板橋支部 福島 幸宏氏 享年64歳	羽田支部 藤村 和夫氏 享年64歳	羽田支部 松野 太亮氏 享年23歳	板橋支部 上岡 正勝氏 享年59歳





北里中央執行委員長 西川代表取締役社長

## 第27回 レディースサークル

国際労働組合は、第27回レディースサークルを2019年7月9日(火)、港区虎ノ門『ホテルオークラ東京』において、12支部1分会より昨年に並ぶ177名(うち労供2名、フレンドリークラブ2名)の参加で開催しました。『ホテルオークラ東京』は言わずと知れた「元祖御三家」の一角をなす超一流ホテルであり、会場となったアスコットホールには格式高い雰囲気が漂い、参加者の皆さんも心なしか緊張している様子が伝わってきました。

開会式では北里中央執行委員長より「第27回レディースサークルによるごお越しくださいました。ホテルオークラでの開催は2014年に続き二度目となります。レディースサークルは女性の集まりとして年に一度、仕事を忘れて、同じ組合に属する女性組合員同士の連帯を感じ楽しんでいただくとともに、参加された皆さんに一流の接

客、本物のホスピタリティを少しでも感じていただき、それぞれの仕事に役立てていただきたいとの思いで開催しています。本日は時間の許す限り楽しんでください。」と挨拶があり、続いて来賓としてご臨席いただいた西川代表取締役社長、渡邊専務取締役を代表して西川代表取締役社長よりご挨拶があり、その後、運営委員としてお手伝いいただいた小原さん(羽田支部)、林さん(世田谷支部)、清水さん(品川支部)の3名の発声で乾杯を行い、開会式が終了しました。

参加者の皆さんは、ブッフェスタイルで提供された豪華なフランス料理や中華料理を堪能し、普段の仕事ではなかなか集まることのできない友人とも再会したせいか、時間が経つとともに緊張も和らぎ、会場には笑顔があふれていました。今後も様々な企画を準備しますので、ご参加をお願いします。

3人の乾杯の発声で  
レディースサークル、  
開宴です!



林さん(世田谷支部) 小原さん(羽田支部) 清水さん(品川支部)



### 人物探訪

国際労働組合  
第50回へら鮎釣り大会  
個人戦優勝&団体戦優勝  
(台東支部団体戦メンバー)

おつかひ ひろかず  
大塚 博和さん  
(台東支部)

今回は、2019年6月に開催された第50回へら鮎釣り大会において、個人戦優勝および台東支部の団体戦三連覇へと導いた大塚博和さんです。

2014年に国際自動車に入社された大塚さんは、2015年から国際労働組合のへら鮎釣り大会に参加され、毎大会好成績を収めてきましたが、今回ついに個人戦で初優勝を飾りました。30代半ばと若い大塚さんが、風格のある実力派釣り師のオーラをまとう経緯をぜひ知りたい!...ということでご本人にインタビューを行いました。

編集: まずは国際労働組合のへら鮎釣り大会に参加したきっかけを教えてください。

大塚: もともと自分自身釣りが好きだったなかで、私の課の班長だった関口さんから「仕事のあと、今度は釣りを教えてやる」と言っていたので、面倒を見てもらったことがきっかけです。その後台東支部の釣り部にも入部して、竿や道具を揃えました。

編集: 面倒見の良い班長とご自身の趣味が合致したわけですね。

大塚: そうですね。面倒をみて貰った代わりに使う道具はきちんと揃えました。たぶんへら鮎だけで30万円は使っていると思います。

編集: えっ、そんなにですか!

大塚: これがいいぞ!と聞いたら買ってしまったので、内心「たっけーな」とは思いましたが、(苦笑)でも一度揃えれば基本的にへらの道具はほとんど使えらるんですよ。

編集: そうなのですか。初心者にもおススメできる道具もあるのでしょうか?

大塚: 初めの方はレンタル品や、買うときは初心者セットでいいと思いますよ。道具というよりも、釣りの雰囲気慣れることがおススメです。長閑なイメージで楽しんで、自分のウキの動きをじっと見られるようになる...というと思います。

編集: 楽しむことも上達のコツですね。今大会は台東支部の活躍が目立ちました。

大塚: 台東では釣り部で椎の木湖に行つて、大会と同じ条件で例会を行い、成績上位の5人が団体戦メンバーとして登録します。ずっと個人でも優勝していた関口さんが今



へら鮎名人の先輩から譲り受けた、「ウキ」の動きを見極めながら釣り上げます!

大会から抜けて(個人タフシー開業のため退職)、台東の部員全員がプレッシャーかかっていたと思います。種のないラーメンじゃありませんけど、「メインの種がなくなったね」などと言われたいように、みんながより頑張ろうという気持ちはあったと思います。

編集: チームとしての結束が伝わってきます。大塚さんご自身はどんな準備をして大会に臨むのでしょうか?

大塚: 椎の木湖では、前日にどの棧橋のどこで魚が釣れたかHP上に載っているのを参考にできますし、釣りの「タナ」とか道具のバランスを確認しておいて、仕掛けが切れたらすぐに付け替えて釣り続けられるように同じものを何セットか用意しておきます。ちなみにほくのウキは関口さんから譲り受けた1本5,000円のもので、これがないと戦いになりません。というウキが立つ時間を覚えておいて、魚が付いた時と空の時の時間の違いで、すぐに反応できるように準備をしているからなのです。

編集: 好成績にはやはり理由がありますね。データを取りながら結果につなげるという意味では、何か仕事に役に立つ考え方もありそうです。

大塚: 物事を分析するのに長けた人は釣りもタフシーも向いていると思いますよ。仮説を立てて実践してみても、自分の想定通りにいった時はたまに鳥肌立ちますね。

編集: それを感じられると楽しさも倍増しそうです。大塚さんのこれからの目標は何でしょうか?

大塚: カッコよく言葉にできればいいのですが、仕事に関してはサツと出てこないですね(苦笑)。へら鮎釣り大会では、台東支部の連覇を死守することができたので、やれるものならやってみよう!...とまでは言えませんが、それぐらいのプライドを持ってやっています。ただ、これも今回はあまり事前に練習できないなかでも優勝できたように、コツさえ理解してパターンをつかめば初心者でも十分上位を狙えます。参加してみても何か賞品買えるだけでも儲けものですよ。是非いろんな人に挑戦してもらいたいです。

編集: ぜひ今後も期待しております。ありがとうございました!

「編集: 齋藤 潤」